

平成26年度 第3回 社会教育委員・公民館運営審議会委員会議次第

日 時 平成26年11月26日(水)  
午後4時30分～

場 所 教育プラザ大会議室

1. 開 会

2. 挨拶

笹川課長

秋山委員長

3. 議 事(議長:委員長)

(1) 上越市の社会教育事業の在り方について

資料1

(2) 平成27年度新潟県社会教育研究大会について

資料2

(3) その他

4. その他

上越市教育の日について

資料3

5. 閉 会

# ■上越市の社会教育・生涯学習推進の「学びのグランドデザイン」(案)

## 上越市総合教育プラン基本目標

ふるさとを愛し、自己実現を目指す心豊かな人をつくる  
学びあい、生かしあう中で成長し続ける地域をつくる  
自立し共生する社会で、一人一人が輝ける未来をつくる

## 上越市の社会教育・生涯学習推進事業目標

# 学びの輪が 人を育み 地域を支えるまち

市民の学びの輪：市民が身近な学びの場から、学ぶ楽しさを知り、学びを深め、その学びを地域の人々と共有する循環をいいます。  
人を育む：学びの輪の循環により、市民が様々な問題への意識が喚起され、行動を起こすことで新たな人材が生まれます。  
人材が地域を支える：地域づくりの事業に力点を置き、次世代の地域を支える人材の育成を目指します。

## ■市民の学びの輪

### 学びを深める

学ぶ楽しさを実感し、個人やグループの学びをさらに探求します。

それぞれの事業で学びの輪の循環を目指します

### 学ぶ楽しさを知る

「学び」から生きがいや楽しみを見出し、さらなる学びへつなげます。



### 学びを共有する

探究した学びを仲間や地域の人々と共有し、地域活動や次世代育成につなげます。

### 学習機会を知る

自分が学びたい時に、身近に学びの場があることを知ります。

目標に向けた  
取組み  
方針

## ■上越市の社会教育・生涯学習推進事業

<事業実施の着眼点>

- 市民の生涯にわたる学習情報の提供
- 学びのきっかけづくりの提供
- 豊富な地域資源を活かした事業の実施
- 「ふるさと上越」に愛着が持てる事業の実施
- 達成感を味わうことのできる事業の実施
- お互いの学びを共有できる場のコーディネート

目標達成に向け、次の分野で事業を実施します。

- ・学びのきっかけづくり(仲間づくり、成果発表を含む)
- ・すこやかな暮らしの応援(健康で安心・安全な生活の応援)
- ・地域を支える未来の人づくり(地域を愛する心、地域を支える人材育成)
- ・地域(市民)活動との連携事業

その他の事業

- ・公民館「テーマ学習(平成27年度は【防災】)」

地域を支える人材の誕生

連携

地域、NPO、大学、民間企業

## ■平成27年度 生涯学習推進課・公民館実施事業

市民の学習支援及び上越市の課題解決に向けた目標別 カテゴリー	事業のねらい	青少年	成人	高齢者	一般
学びのきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを始めるためのきっかけづくり (将来的に受講者の「巣立ち」を目指す)</li> <li>・仲間づくりの場</li> <li>・身に付けた知識や技能を地域住民と共有する場を提供する(成果発表会など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館青少年教育活動事業(13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館成人講座(98)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フェスティバル</li> <li>・生涯学習情報提供</li> <li>・学習相談</li> <li>・市美術展覧会</li> <li>・県展</li> <li>・市民芸能祭</li> </ul>
すこやかな暮らしの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを通じた健康で安心・安全な生活を送るための支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館青少年教育活動事業(6)</li> <li>・街頭指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館成人講座(63)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館高齢者講座(22)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育活動</li> <li>・社会同和教育</li> </ul>
地域を支える未来の人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源や地域の人材を活用し、地域を愛する心、「この地に住みたい、住み続けたい」と思える心を育む</li> <li>・地域を支える人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・謙信 KIDS スクールプロジェクト(26)</li> <li>・成人式</li> <li>・中学生まちづくりワークショップ(1)</li> <li>・公民館青少年教育活動事業(47)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館成人講座(62)</li> <li>元気の出るふるさと講座(12)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市美術展覧会</li> <li>・育成会議</li> </ul>
地域(市民)活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域及び市民活動の支援</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民芸能祭</li> <li>・地域(市民)活動の後援、共催(44)</li> </ul>
< 公民館講座 > テーマ学習 (平成27年度は【防災】)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市的に取り組むべきテーマを各地域共通で行い、市民一人ひとりの意識を高める</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館テーマ学習(28)</li> </ul>

( ) は平成27年度の講座数

「学びのグランドデザイン」における各事業の位置付け

事業名	対象	位置付け	平成26年度からの変更点（改善点、工夫した点）
謙信KIDSスクールプロジェクト	青少年 (小学生)	学校以外での学びのきっかけの場。上越市の豊富な地域資源を題材とし、一つのテーマを追求するプログラムとすることで、郷土愛を醸成し、上越を語ることでできる人材を育成する。	公民館事業とのすみ分けを整理し、実施講座の整理を実施。 謙信KIDS事業は、43講座から31講座に減。公民館青少年教育講座でシリーズもの講座を13講座増。
成人式	青年 (20歳)	・自分の将来や地域を考える機会とする。 ・成人の集い実行委員として、企画・運営する経験し、能力を養う。	成人の集いは実行委員に企画・運営の全てをまかせる。 生涯学習推進課は、企画内容を確認することで、集いの実施について、責任を持つこととする。
公民館事業	青少年 成人 高齢者	身近な学びの場の公民館で、学ぶきっかけ、仲間づくりを進める。地域の人と交流することで、地域を知ることから、地域を支える未来の人材を育成する。	社会教育のあり方の目標に沿って事業のカテゴリーを新たに5つに分類し、整理を図った。受講料は、「学びのきっかけづくり」のみ200円と設定。ただし、18歳以下は無料とする。
地域（市民）活動の支援	一般	行政の支援により、地域（市民・団体）がいきいきと活動するための手法を学ぶことで、力を付け、主体的に活動する市民・団体を育成する。	「まちづくり自治・その他」で分類していた事業を公民館事業で行うものと「共催事業・その他」で行うものに再分類。自主事業化への道程化を進める。
市美術展覧会	一般	身に付けた技術を広く市民に発表し、上越市の美術の振興に寄与できる人材を育成する。また、鑑賞した人が作品に感化され、学び・創作のきっかけとなる。	経費について、運営委員のうち市民委員の廃止、副賞の廃止など必要経費の見直しを行った。 市展目録の販売及び目録への広告掲載による広告収入増を図る。
社会同和教育	全世代	誰もがすこやかな暮らしを送れるよう、正しい人権意識を持った人材を育成する。	日常業務における人権同和教育問題に係る気づきの力を養成するため、教育委員会全職員を対象とした研修会事業計画し、平成27年度予算に計上する。
街頭指導等	青少年	街頭指導活動や環境浄化活動を通して、青少年の非行の未然防止と健全育成を図る。	街頭指導等を行う健全育成委員の人数を120人から80人体制に減員し、かつ、年間の街頭補導等実施回数は前年並みを維持する。

中学生まちづくりワークショップ	青少年 (中学生)	市内中学生の親睦と交流を深め、参加する子ども達の一体感を醸成する。地域のことを考え、地域による地域の子育てを実践できる人材を育成する。また、活動によって、地域を支える人材を育成する。市内の地域青少年育成会議の活動を周知する。	中学生まちづくりワークショップの在り方を見直し、実施主体を地域青少年育成会議とする。(育成会議と調整中)
-----------------	--------------	--	--



上越市教育の日シンボルマーク

# 上越市教育の日について

資料3

上越市教育委員会

## 上越市教育の日 制定までの経緯

- ・平成23年9月の上越市議会文教経済常任委員会において、「上越市教育の日」制定に向けた市民団体の陳情書が採択される。
- ・教育委員会では、平成24年7月に先進地（群馬県前橋市）の視察を行ったほか、教育委員による協議を行い、教育の日を教育委員会規則として制定する方針を固める。
- ・平成25年5月には、教育関係者や公募による市民等で構成する上越市教育の日制定検討委員会を設置し、3回の会議で規則の内容等に係る検討を行う。
- ・平成25年12月6日の上越市議会文教経済常任委員会で規則案を報告する。
- ・平成25年12月17日の上越市教育委員会定例会で規則案を承認する。

## 上越市教育の日に関する規則

（平成25年12月26日 上越市教育委員会規則第9号）

### （目的）

第1条 この規則は、上越市教育の日を設けること等により、学校、家庭及び地域の連携の下に市民全体で教育に関する取組を推進し、もって本市における教育の充実及び発展に寄与することを目的とする。

### （上越市教育の日）

第2条 教育に対する市民の関心及び理解を深めるため、上越市教育の日を設ける。

2 上越市教育の日は、11月1日とする。

### （上越市教育を考える市民の月間）

第3条 上越市教育の日の趣旨にふさわしい活動を重点的に実施する期間として、11月を上越市教育を考える市民の月間とする。

### （その他）

第4条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

### 附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

## 上越市教育の日 宣言 （上越市教育の日制定記念式典において）

私たち上越市民は、郷土を愛し、その発展を願っています。そのために、次代を担う子どもたちを、市民総ぐるみで見守り、育むことが大切であると考えます。

上越市の子どもたちが、明るく生き生きと毎日を過ごし、夢や志の実現に向けて、自己を高めながら成長していくことは、私たちの願いであり、その環境を整えていくことは、私たちの責務であります。

すべての市民が、教育や文化について理解と関心を深め、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担いながら、高い志をもつ子どもたちを育むとともに、一人一人が学ぶ目的や喜びを自覚し、生涯にわたって学び続ける風土をつくりあげていきます。

私たちは、11月1日を「上越市教育の日」に、そして11月を「上越市教育を考える市民の月間」とすること、本日ここに宣言します。

平成26年11月1日 上越市教育委員会

## 上越市教育の日 合言葉

上越市の歴史や風土を踏まえ、上越市の将来を担う子どもたちに、受け継ぎ、大切にしたい規範や心構えを表しています。勝つためには手段をえらばない戦国時代にあつて、敵国に塩を送った故事に象徴されるように、筋目を重んじ、義侠心、正義感にあふれた英雄として、義を貫いた上杉謙信公、その義にあやかり、上越市の子どもたちに、自分だけでなく周り人々への慈しみの心や人として正しい心をもって生きてほしいと願い、次の5つを定めました。

### 上越市教育の日 義の心をつなげよう

笑顔であいさつ、美しい言葉遣いに心がけよう  
やさしい心もち、人や社会のために尽くそう  
正しい心もち、約束やきまりを守ろう  
規則正しい生活をし、心と体を鍛えよう  
ふるさとを愛し、夢・志をもとう



合言葉の内容は、子どもたちの規範や心構えであると同時に、私たち、大人の規範や心構えでもあります。学校・家庭・地域で、唱え、互いに声をかけあい、私たち上越市民の心の糧として、この合言葉を生かしてほしいと考えます。

## 上越市教育の日 シンボルマーク

シンボルマークは、上越市の「J」で大人と子どもを、桜の5つの花びらで「学校・家庭・地域・行政・企業」「幼稚園と保育園・小学校・中学校・高校・大学」「上越市の5つの合言葉」などを表し、みんなで支え合い、助け合いながら教育に取り組む願いが込められています。



上越市教育の日シンボルマーク